

市民活動団体の通信簿（セルフチェックシート）

団体名 子どもの食と貧困を考える会

団体及び事業の概要：

子ども食堂「すまいる、ステーション」

代表者名

河野健市

記入日

2024 年 4 月 3 日

自己評価に関する 団体コメント

子ども食堂への
利用者の参加が
増加している。
またボランティアの
増大しており、今後
開設場所の増加
も検討している。

「市民活動団体の通信簿」は、
団体の運営が適切に行われてい
るかを点検するため、会計年度の
終了後に、項目別に4段階※で
自己評価を実施するものです。

自己評価の結果を、市民活動
支援センター「まちびと Caffé」の
ウェブサイト等で公開することによ
り、透明性の高い団体であること
を広く周知することができます。

※4段階の自己評価

A：適切であった

B：改善を要する

C：抜本的な見直しが必要

D：不適切であった

評価項目と評価の観点

評価

1. 団体運営

総会、役員会等を開催し、団体の事業報告・決算及び事業
計画・予算を決議の上、事業を執行している。

A

2. 情報公開

紙媒体やウェブサイト、SNS 等を通じて、団体の基本的な
情報や活動内容を公開している。

A

3. 目的

団体の目的を明文化し、各事業のふりかえりや見直しを実
施している。

A

4. 法令遵守

事業の執行にあたり、法令を遵守している。

A

5. 会計処理

資金の管理について、複数人によるチェック体制があり、会
計年度ごとに監査を行っている。

A

6. 市民参加

事業の対象となる地域の課題やニーズを関係者から汲み取
り、多様な市民の参加を得ている。

A

当団体は、以上のセルフチェックの内容について、市民活動支援センターのウェブサイト等で公表
することを了承しました。